

次世代経営研究会実施報告



「事業環境変化に向けた製造業DX（デジタルトランスフォーメーション）の課題と進化」 後半

事業部会経営委員会
次世代経営研究会運営委員会

1. はじめに

2024年6月13（木）に「次世代経営研究会第11回定例会」をリモートの形式で開催した。参加者は関係者を含めて32名であった。今回は名古屋国際工科専門職大学情報工学科教授、横幹連合DX調査研究会主査の山本修一郎氏をお招きして、「事業環境変化に向けた製造業DX（デジタルトランスフォーメーション）の課題と進化」の演題で講演いただいた。

なお、山本氏の基調講演は本誌前号に掲載した。ここでは後半のパネルディスカッションの内容を掲載する。

2. パネルディスカッション

司会：鈴木智雄 コニカミノルタジャパン（株）
ワークスタイルデザイン事業部 ITS事業企画部 ITS管理グループ 副部長

パネリスト：

西村秀和 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

玉木淳 三菱ケミカル（株） 技術本部 生産技術部マネジャー

原田洋一郎 旭化成（株） デジタル共創本部 DX経営推進センター プロダクト開発部次長

2.1 自己紹介

鈴木（以下司会）：現在はワークスタイルデザイン

事業部に所属しているが、昨年度までこの組織の名称はDXソリューション事業部で、お客様のDXを推進するIT商品の開発と販売を狙いとした事業部である。入社時はメカ屋として開発部門に所属していたが、12年目に全社業務革新というテーマで招集されたクロスファンクショナルチームに異動となり、そこから今はさらに販売会社に出向している。

西村：横幹連合所属。システムデザイン・マネジメント研究科に所属している。その中でも特にシステムズエンジニアリングを研究中。山本先生のお話は以前からお聞きしているが、もっともな話かと思っていた。また、システムデザイン・マネジメントはビジネスとは関係ないと思われがちだが、最近ではビジネスに関係する「ユニファイドアーキテクチャーフレームワーク」を世界にPRしている。

玉木：当時、三菱化成工業に入社。その後、合併などで社名が変わっている。25年くらいは横浜にある生産技術研究所で主にマザープラントを立ち上げる仕事をしてきた。そこから事業部に行き、岡山の事業所で、有機・無機半導体、記憶媒体などの開発を統括する職に就いている。会社の合併などが進んだのち、再び生産技術開発部門に戻ってきた。開発現場では、検討結果の再現性の低さなどさまざまな問題に直面しており、そのような開発テーマに品質工学観点での支援をおこなっている。また、心身負担を軽減するプロジェクトの一環でDXテーマにも関わっている。今回の討論で解決の糸口がつかめれば、と期待している。

原田：現在の仕事はDXという名前の通り、デジタル人材を育てることがミッションになっている。自